



医療法人財団
きよせ旭が丘記念病院 広報誌
Kiyose Asahigaoka Memorial Hospital

Take Free

ご自由にお取りください

vol.3
2023年5月

2023年1月創刊 / 隔月発行

きよあさ通信



エゴノキ

巻頭『リハビリのシーズンです!!』 理事長 高木 由利

学会参加報告

『透析バスキュラーアクセスインターベンション(VAIVT) 治療医学会学術集会・総会』
『日本腎臓リハビリテーション学会学術集会』

臨床工学技士 長岡 杏典
理学療法士 金子 朋樹

- 当院の水源は井戸水です。
- 連載 院内さんぽ vol.3 『臨床検査科』
- きよあさ農園オープン!!

リハビリのシーズンです!!

理事長・腎臓内科
高木 由利



新病院に引越してから 6 ヶ月が経過しました。私は毎日空気のきれいな院内で仕事ができる喜びを味わっています。

* * *

ある日、1 人のご高齢の紳士が 1 階の廊下で私にお声をかけて下さいました。リハビリテーションが終わったところだったとおっしゃっていました。あちこちの関節が痛くて、どんどん歩くのが億劫になっていた時、内科の先生から「リハビリテーションをコツコツ続けていくと自分で歩ける日が来ますよ」と言われて渋々始めたそうです。最初の数ヶ月は膝は痛い、腰は痛い、ついでに頭まで痛くなった時、リハビリテーションの先生方から「それは体が歩けるようになるための準備を始めたので、これからが楽しみですね!」とニコニコしながら肩に手をかけてもらったとおっしゃるのです。“本当ですかね...”と心の中で思ったそうですが、その笑顔があまりにも優しく、”頑張らないと!”と心を締め続けているそうです。でも確かに体は動くようになり、近所の方からも褒められ、今はリハビリテーションが楽しいとのことでした。

私の患者様達もリハビリテーションして本当に歩けるようになるのかと不思議そうな表情をされる方がいらっっしゃいます。ところが、当院

のリハビリテーションを 1 度経験されると“やみつき”になります。私はいつも思いますが、“リハビリテーションをしてもらったら良くなる”と思っただけではいけないのです。リハビリテーションをして、自分の体を立て直そうとご自身が心の底から強い決心をして、真剣に且つ素直な心で実行していくことが大切です。その結果、自分の力で歩いたり生活できるようになるのです。治療とはそのようなものです。指導に沿った正しく正確な食事療法を行うこと、処方された薬を正確に飲むこと、定期的な採血をしたり心臓超音波検査や頭部MRI、胃カメラなどを定期的に行うこと、これは全て自分自身の限られた人生をより良く幸せに生きるための大切な行動だと私は考えています。

人生はたった 1 度しかありません。ご自分の体を愛し、よく管理してステキな老後を楽しんで頂きたいと心から願っています。





第28回

透析バスキュラーアクセスインターベンション (VAIVT) 治療医学会学術集会・総会に講師として参加しました！

ながおか きょうすけ
臨床工学技士 長岡 杏典



当院でも積極的に行われているVAIVT治療に関する大きな学会である『透析バスキュラーアクセスインターベンション (VAIVT) 治療医学会』の学術集会・総会が、3月4日(土)にパシフィコ横浜で開催されました。本学会はVAIVT治療の統一化を模索する内容や、失敗からのリカバリー法、VA超音波のハンズオンセミナーも盛り込まれた内容でした。

私は富士フィルムメディカル共催のハンズオンセミナーの講師として招待され、医師・工学技士向けにバスキュラーアクセス (VA) 超音波の使用方法について、多くの方に説明させて頂きました。

ハンズオンセミナーでは機能・形態評価とエコー下穿刺の2つのテーマで講師をさせて頂きました。機能・形態評価のセッションでは、富士フィルムのFC-1を用いて血流測定の基礎的な操作方法や最適な測定条件などについて講義を行い、まずは機能評価が行えるようになることを目標としました。エコー下穿刺のセッションでは、模擬血管のファントムを用いて短軸法での講義を行いました。始めは針や血管の全体像を把握することや片手でエコープローブを操作し穿刺をすることが難しく感じる方もいました。本セミナーではエコーと穿刺針を同時に操作することを目標としました。

医師を含めた多くの方が両セッションに参加してくださり、大変緊張をしましたが無事に講師を全うすることができ、貴重な経験になりました。この経験を現場の診療にも活かして、引き続きシャントの管理を頑張っていこうと思います。



第13回

日本腎臓リハビリテーション学会学術集会に参加して

かねこ ともき
理学療法士 金子 朋樹



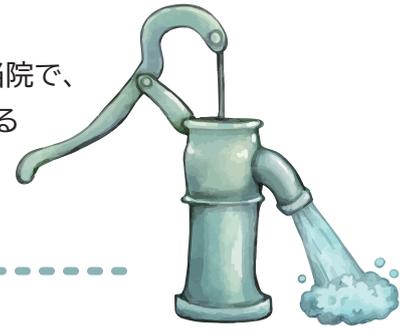
3月18日(土)と19日(日)に『第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会』を聴講してきました。腎臓リハビリテーションとは、腎不全患者様に対して、運動療法、教育、食事療法、精神的ケアなどを行う事です。今回の学会のテーマは『連携で生きる腎臓リハビリテーション』として、チーム連携の話題を中心に考えたものでした。私は今回初めて学会に参加させていただき、学会の雰囲気を感じ、教授の方々の発表を聴講し知識を深める事ができ、今後の臨床を行う上で大変貴重な機会となりました。

慢性腎臓病や透析患者様のフレイル(心と体の働きが弱くなってきた状態)、サルコペニア(筋肉量の減少および筋力の低下)の合併は兼ねてより問題視されています。それは、尿毒症に伴う筋量・筋力低下の影響や、加齢に伴いtype II 繊維(白筋・速筋)に存在するサテライト細胞数が減少するためです。そのため、慢性腎臓病や透析患者様におけるリハビリの目的はフレイル・サルコペニアの予防であり継続的な運動療法が大前提となります。しかし、他院では透析患者様に運動療法を行ったところ、ほぼ半数の透析患者様が1年以内に運動を継続できず脱落してしまったそうです。こういった内容のシンポジウムを聴講し、私は患者様の運動療法に対するモチベーションを保つための工夫をすることがあらためて重要だと感じました。運動の継続には、具体的な目標を持ち運動自体が楽しみとなることが大切です。また、私自身も医師・コメディカルスタッフと連携をし合い、患者様一人ひとりの生活のあり方を考えながら運動療法を提供できるよう取り組んでいきます。

当院の水源は 井戸水 です。

病院では、透析用水・清潔管理・お食事などあらゆる場面で「安全・安心な水」が必要です。

敷地内に2本の井戸を所有している当院で、「安全・安心な水」のために行っている取組みや設備の特徴についてご説明します。



安全・安心な水の 確保のために



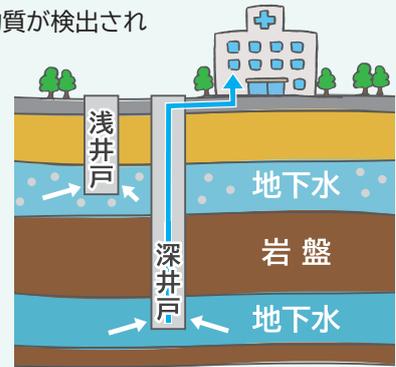
当院で使用する井戸水は、国が定める厳格な水質基準を守るために、以下の水質検査、消毒、設備の清掃を実施しています。

毎日	残留塩素濃度・色・濁り・味の確認
毎月	水道法により義務付けられている9項目の水質検査
3か月毎	水道法により義務付けられている13項目の水質検査
毎年	原水：40項目の水質検査 浄水：51項目の水質検査
その他	「透析液水質基準」に則った12項目の水質検査

井戸には利点がある

当院の井戸は深さ130m以上の深井戸です。岩盤の下の水を汲み上げるので、土壌汚染の影響を受けづらく水質が安定しています。2011年に発生した原発事故によって水道水から放射性物質が検出され

大きな混乱が起きましたが、当院の井戸水からは検出されませんでした。



井戸は災害発生時に 頼りになる

上水道は地震発生時に水道管の破断などによって断水が発生します。しかし、当院は井戸があるため災害時にも水の供給が可能です。

災害時にも水が確保されていることに加え、新耐震基準を満たした建物であることから、清瀬市の『災害時における血液透析療法の必要な者の受入れ協定施設』

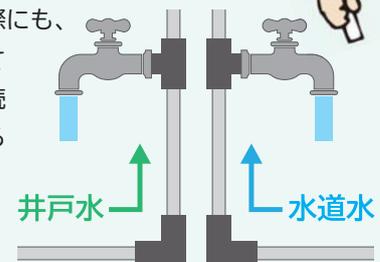
になっています。災害時にも慌てることなく、当院では安心して透析医療を受けて頂けます。



井戸水と水道水の 二段構え

安全な水を安定供給するため、当院では自前の井戸水に加え、有事の際のバックアップとして上水道を引き込んでいます。水質変化や揚水量の減少など、地下水に問題が発生した際には水道水を使用し、地震などの災害によって

水道が断水した際にも、井戸水を使用して医療の提供を継続することができますように構築してあります。



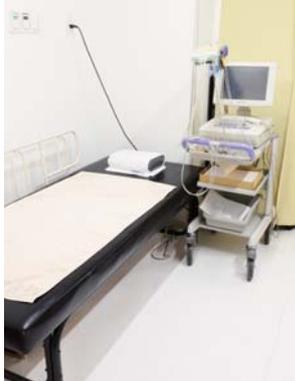
安全・安心な医療の実現のために、医療現場の裏側ではこうした安全のための様々な取組みが行われている事を知っていただけたらと思います。

臨床検査科



超音波（エコー）検査室

超音波を用いて腹部（肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓）・心臓・乳腺・甲状腺・血管などの病変を調べます。超音波検査は痛みや放射線による被ばくの心配がなく体への負担が少ないので、安心して検査を受けられます。



心電図検査室

心臓の異常や不整脈を調べます。手首・足首にクリップを挟み、胸部に6つの電極を取り付けて検査をします。記録時間は10秒間と短時間ですが、沢山の情報が得られます。



採血室

明るく開放的な空間で安心して採血を受けられます。隣の採血台とはパーテーションで区切られ、感染対策としてアクリル板越しに採血をしています。車椅子用の採血台も準備しております。



検体検査室

採取した血液や尿を検査機器を用いて分析し、体の状態を表現する数値を出しています。患者様には見えない場所ですが、正確なデータを迅速に提供できるようスタッフ一同、日々努力しております。



健診検査室

身長・体重・体組成検査・視力検査・聴力検査・色覚検査・肺機能検査・眼底検査を行っています。健康診断の計測項目はこの部屋で実施します。

『きよあさ農園』はじめました。小さな小さな畑ですが、ここで色々な野菜や果物の栽培に挑戦していきたいと思ひます。いずれ患者様や地域の皆様と一緒に育て、そして収穫できる農園を目指しています。



今回は、夏野菜の苗（ミニトマト・ナス・パプリカ・ピーマン・キュウリ・大葉・ししとう）と、織本病院の時から育てているいちじくの木、さらに新たにブルーベリーの木2本を植えました。



ブルーベリー



ナス



ミニトマト



外来待合エリアからよく見えますので、ぜひ覗いてみてください。

外来診療体制

午前受付 8:30 ~ 12:00 (診療開始 9:00) / 午後受付 13:00 ~ 16:30 (診療開始 13:30)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金原 嘉之 齋藤 圭子	金原 嘉之 齋藤 圭子 坂東 興	奥村 昌夫 勝矢 由紀子 坂東 興	島田 祐輔 齋藤 圭子 矢島 愛治	担当医	金原 嘉之 (第1,3) 市川 健一郎 (第2,4)
	午後	担当医	金原 嘉之	坂東 興	矢島 愛治 坂東 興	島田 祐輔 金原 嘉之	坂東 興 村瀬 忠 (第3)
外科	午前	藤木 達雄	藤木 達雄	担当医	担当医	藤木 達雄	藤木 達雄
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	藤木 達雄	担当医
呼吸器科	午前	齋藤 圭子	齋藤 圭子	奥村 昌夫	齋藤 圭子		
	午後						
循環器科	午前		坂東 興	坂東 興	矢島 愛治		市川 健一郎 (第2,4)
	午後			坂東 興	坂東 興 矢島 愛治		坂東 興
消化器科	午前			勝矢 由紀子	島田 祐輔		
	午後					島田 祐輔	
血液内科	午前						
	午後						村瀬 忠 (第3)
脳神経外科	午前		佐々木 重嘉			小林 啓一	菱井 誠人 (第3)
	午後		佐々木 重嘉			小林 啓一	
整形外科	午前				森友 信彦 (第4除)	石井 良介	
	午後				森友 信彦 (第4除)		
心臓血管外科	午前	藤木 達雄	藤木 達雄			藤木 達雄	藤木 達雄
	午後					藤木 達雄	
泌尿器科	午前	澤崎 晴武					高橋 さゆり
	午後						山中 優典 (第1,3)
皮膚科	午前		宮田 美穂 (第1,3)		宮田 美穂		
	午後						
内視鏡検査	午前	島田 祐輔	島田 祐輔	島田 祐輔		島田 祐輔	池田 (第4以外)・島田 (第4)
	午後						
専門外来	腎食事療法外来	午前	高木 由利	高木 由利	高木 由利		
	糖尿病外来	午前	金原 嘉之	金原 嘉之	石井 主税		佐藤 潤一 金原 嘉之 (第1,3)
		午後		金原 嘉之			金原 嘉之 佐藤 潤一
	乳腺外来	午前					中宮 紀子 (第2)
	睡眠時無呼吸外来	午前	齋藤 圭子	齋藤 圭子		齋藤 圭子	
	禁煙外来	午後		齋藤 圭子			
漢方外来	午前			金原 嘉之			

※ 予約のない方も受診して頂けますが、予約の方が優先となりますので予めご了承ください。

※ 赤字は女性医師です。 ※ 腎食事療法外来は完全予約制となります。

※ 休診情報などの詳細はお電話または当院ホームページにてご確認ください。

Tel 042-491-2121
(9:00 ~ 17:00)

FMラジオ

TOKYO854 くるめら  に出演します!!

小平・清瀬・東久留米を中心に地元の情報を発信する地域密着ラジオ、『TOKYO854 くるめら』に当院の箕輪専務理事と島田医局長が出演します!

6月13日(火) 午後3時の番組『午後のティーブレイク』内で30分程のお時間をいただき、新病院『きよせ旭が丘記念病院』の紹介をさせていただきます。
ラジオがなくても、スマホで簡単に聴くことができますので、お時間のある方は是非♪



ご聴取・アプリのダウンロードは
こちらから>>>



編集・発行 医療法人財団 きよせ旭が丘記念病院 広報委員会

〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-619-15 Tel 042-491-2121 (代表)
<https://kiyoasa-hosp.or.jp>

